

令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立藤枝特別支援学校 P T A					
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	332人				

1. 使用状況

寄贈物品名	エコノミーバウンサー(エアトランポリン)
使用学年及び人数	小学部肢体学級1～6年25人、高等部肢体学級1～3年17人
使用頻度	29時間(各グループ週1回程度) 12月にも使用予定あり
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・主に自立活動の時間や生活単元学習で使用している。 ・今後、小学部知的学級の遊びの指導でも利用計画がある。 ・自立活動では、トランポリンの壁に体を預けて立位をとる学習や、体の力を抜いてリラックスする学習に用いている。 ・生活単元学習では、転倒や落下の心配がない活動場所としても活用している。
物品の使用による変化や効果	<p>自立活動では、立位が不安定な児童生徒が、転倒を心配することなく、安心して取り組む姿が見られている。安心して取り組むことで、筋緊張が緩和され、体の可動域を広げることにもつながっている。</p> <p>生活単元学習では、トランポリンの中に風船を入れて遊ぶ活動を行った。安全な環境の中で、自身のできる動きで自ら風船を拾いにいく姿が見られた。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>落下の心配や、転倒しても怪我につながる心配が少ないため、児童生徒本人が安心して活動に取り組むことができるだけでなく、支援する教師も、児童生徒の主体的な動きを制限することなく、教育活動を実施することができる。そのことは、児童生徒の「やってみよう」という更に挑戦する姿につながっている。本教具を今後も継続して使用していくことで、児童生徒の主体的な活動を引き出しながら、筋力の向上やバランス感覚を養うことに寄与すると考えている。</p>
その他希望や所感など	<p>児童生徒が普段活動している普通教室で活用することができる大きさであり、自ら移動することが難しい肢体不自由の児童生徒にとって大きな利点である。</p>

2. 活用の様子

写真①自立活動で立位を行っているところ



写真②生活単元学習で風船遊びを行っているところ

